

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」における工程表

申請担当大学名	千葉大学
連携大学名	東邦大学
事業名	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム

① 本事業終了後の達成目標

	本事業終了後の達成目標
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業では、医師偏在・地域偏在の解決に資する地域志向型リーダーを育成するために、「総合力」、「適応力」、「教育力」を有する地域志向型医療リーダーを継続的に育成できるプログラムを開発する。 ・開発した教育プログラムが全て運用し、修了生を送り出す。 ・将来的には、今回作成する教育プログラムのオンデマンド教材や教育方略等は他大学や医療機関で活用できるものとする。 ・大学(連携大学を含む)ー地域病院間で持続可能な教育体制が構築する。 ・医学生が地域医療について充実した教育とキャリア支援が受けられる体制を構築する。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の新規受入れ:60名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の新規受入れ:60名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の新規受入れ:260名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の新規受入れ:15名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の新規受入れ:10名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の新規受入れ:125名 ・オンデマンドコンテンツの作成:30本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)の開催:参加者10名 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の受入れ:80名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の受入れ:80名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(III)の新規受入れ:500名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の受入れ:280名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の受入れ:250名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(VI)の新規受入れ:10名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の受入れ:30名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(II)の新規受入れ:110名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の受入れ:247名 ・オンデマンドコンテンツの作成:60本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)を開催(医師10名)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の受入れ:80名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の受入れ:80名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(III)の新規受入れ:500名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の受入れ:280名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の受入れ:250名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(VI)の新規受入れ:30名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(II)の受入れ:110名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の受入れ:247名 ・オンデマンドコンテンツの作成:60本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)を開催(医師10名)。 ・ちば地域医療コンソーシアムの開催:参加者20名(アテンディング数10名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の受入れ:100名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の受入れ:100名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(III)の受入れ:510名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の受入れ:290名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の受入れ:255名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(VI)の受入れ:50名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(II)の受入れ:110名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の受入れ:247名 ・オンデマンドコンテンツの作成:60本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)を開催(医師10名)。 ・ちば地域医療コンソーシアムの開催:参加者25名(アテンディング数10名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の受入れ:100名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の受入れ:100名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(III)の受入れ:510名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の受入れ:290名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の受入れ:255名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(VI)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(II)の受入れ:110名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の受入れ:247名 ・オンデマンドコンテンツの作成:60本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)を開催(医師10名)。 ・ちば地域医療コンソーシアムの開催:参加者30名(アテンディング数10名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の受入れ:120名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の受入れ:120名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(III)の受入れ:520名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の受入れ:300名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の受入れ:260名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(VI)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(II)の受入れ:110名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の受入れ:247名 ・オンデマンドコンテンツの作成:60本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)を開催(医師10名)。 ・ちば地域医療コンソーシアムの開催:参加者35名(アテンディング数10名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫地域医療学修プログラム(I)の受入れ:120名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(II)の受入れ:120名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(III)の受入れ:520名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(IV)の受入れ:300名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(V)の受入れ:260名 ・6年一貫地域医療学修プログラム(VI)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(I)の受入れ:60名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(II)の受入れ:110名 ・地域医療への高い情熱と好奇心を涵養する地域志向型人材養成プログラム(III)の受入れ:247名 ・オンデマンドコンテンツの作成:60本 ・地域医療に従事する医師を対象としたFD(地域のための指導医講習会)を開催(医師10名)。 ・ちば地域医療コンソーシアムの開催:参加者40名(アテンディング数10名)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の設置・開催 ・千葉県地域医療評価委員会の設置・開催 ・HPの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の開催 ・千葉県地域医療評価委員会の開催 ・HPの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の開催 ・千葉県地域医療評価委員会の開催 ・外部委員会の設置・開催 ・HPの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の開催 ・千葉県地域医療評価委員会の開催 ・HPの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の開催 ・千葉県地域医療評価委員会の開催 ・HPの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の開催 ・千葉県地域医療評価委員会の開催 ・外部委員会の開催 ・HPの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域医療統括会議ならびに千葉県地域医療推進委員会の開催 ・千葉県地域医療評価委員会の開催 ・地域医療教育のパッケージ化 ・HPの運用

③ 選定委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	常に先進的・革新的な取組内容となるよう自己点検・評価のみならず、医療現場・自治体等のニーズを取り入れるための努力を欠かさないこと。	千葉大学と東邦大学では、千葉県地域医療統括会議、千葉県地域医療推進会議、千葉県地域医療評価委員会を定期的を開催する。構成員には、地方自治体担当課やNPO法人、地域医療の現場で勤務している医師が参画し、医療現場や自治体からのニーズを取り入れつつ、先進的・革新的な取組内容になるように、自己点検・評価を継続する。さらに、学外委員による外部評価委員会を設置し、より客観的な評価に基づく事業推進を行う。
②	代表校のみならず連携校も含め、長期的な展望に基づく具体的な事業継続方針を策定の上、補助期間終了後は、成果の波及とともに更に発展的な取組として実施できるよう工夫して取り組むこと。	千葉大学と東邦大学が連携し、医師少数都道府県である千葉県を拠点とした医師偏在・地域偏在の解決に資するプログラムを構築・実施することを事業継続の方針とする。 本事業ではスマート・ラーニングによる、大学と大学、大学と地域、地域と地域を繋ぐことができるシステムを導入し、成果の波及と事業の発展に繋げる。そうすることで、学生や指導医は時と場所を選ばず、ニーズが高まった時に学修を行うことができ、継続的な好奇心を涵養することができる。

④ 選定委員会からの主なコメントに対する対応方針

選定委員会からの主なコメント(改善を要する点)	対応方針
二つの大学のプログラム数の差があり、相互乗入れなどにより双方の地域卒学生に公正な教育が行われることを期待したい。	両大学の教育プログラム相互乗入れを千葉地域医療推進委員会において検討し、双方の地域卒学生に公正な教育の提供をできるよう計画する。
ジェネラリスト入門の内容は、卒前教育の本幹であり、デジタル活用で全学生対象も検討できると考えられた。また、アスパイアプロジェクトは、可能であれば、低学年から導入があるとよいと考えられた。	ジェネラリスト入門で用いるオンデマンドコンテンツは、全学生を対象とする。
展開が限定されているが、全国への波及も期待したい。	千葉大学では地域病院アテンディングによる地域医療機関における人材育成を実施しているが、それらを始めとする本事業における特長的な人材育成方法、ならびにその活用方法についてのノウハウを共有して全国への波及を図る。
予算補助に関しては事業開始後に意見交換をおこない、令和9年以降予算補助を受け事業の継続を行うというのは根拠が不明瞭である。	地方自治体からの経済的支援を千葉大学が運用する基金へ受入れ、本事業の継続に使用する。
3年目以降の計画は前年と同じであり具体性が乏しい。	3年目までの地域医療人材を育成する内容を継続させ、さらにそれを発展させる。ちば地域医療コンソーシアム設立することで、教育連携を通じた地域病院間のネットワーク構築、地域医療教育のパッケージ化(FDを含む)を行う。